

災害時の迅速な復旧・復興支援を可能に

「Starlink Business」をアクティオ東京 DL センターに設置

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO: 小沼直人、以下アクティオ)は、災害発生時の迅速な復旧・復興支援を目的として、アクティオ東京 DL センターに衛星通信サービス「Starlink Business (スターリンクビジネス)」のアンテナを2025 年10月 9 日(木)から設置いたしました。



東京 DL センター センター棟屋上 設置風景

近年、豪雨や大雪、地震などの自然災害が各地で頻発しています。災害時には、電話やインターネットへのアクセス集中や、倒木・積雪などによって電力線や通信ケーブルが断線されてしまい、基地局が機能停止し通信障害が発生しやすくなります。このような状況では、行政機関との連携が困難になり、必要な情報が届かず救援や復旧などの大幅な遅延が懸念されます。

今回、災害発生時の迅速な復旧・復興支援を目的として東京 DL センターに衛星通信サービス「Starlink Business」のアンテナを設置いたしました。衛星通信サービス「Starlink Business」とは、法人向けの低軌道衛星ブロードバンドインターネットサービスです。災害などで通信が遮断された場合でも、「Starlink」の衛星ネットワークを活用することで、重要な業務システムへのアクセスや行政機関との連絡を確保し、ビジネスの継続性を維持することが可能です。さらに、災害時には情報収集や安否確認など、通信手段の確保が住民の生命と安全を守る重要な要素となるため、東京 DL センターを地域住民に開放し、インターネット接続環境の提供を行っていきます。当社施設を地域の防災拠点として機能させることで、地域社会のレジリエンス(回復力)向上に貢献していきます。

アクティオは今後も防災対策を推進し、より安全・安心に暮らせる地域社会づくりに取り組んでまいります。

■東京 DL センター



東京 DL センターは、関東エリアの他工場と連携し現場のあらゆるオーダーに対応し、スピーディーな配送を実現するディストリビューターとしての役割を担っている物流拠点です。レンサルティング®の中核拠点として、ラボ・教育機関の機能を持ち、3次元設計室やラボ内学習室、さらには全国の工事状況の可視化を実現するシステム開発を行うリモート開発室など高度な技術が集結しています。自動ラック倉庫は、建物

の1階から4階まで、どの階からも入庫可能で、保管能力は最大866パレット。入出庫スピードは、業界最高クラスの1時間当たり518パレットを誇ります。

敷地面積／14,639.00 m²(4,428.29 坪)

建築面積／4,666.90 m²(1,411.73 坪)

延床面積／15,597.64 m²(4,718.28 坪)

東京都江東区新砂 3-6-41

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』（算数とハートの経営 2014 年 幻冬舎）。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。

アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 広報部 担当:成澤、深沢

TEL:03-6262-7867 FAX:03-6262-7982 e-mail:koho@aktio.co.jp